

北朝鮮の強制収容所をなくすアクションの会「NO FENCE」会報

NO FENCE

vol. 40 2016年7月

〒102-0093 千代田区平河町1-5-7-203

nf-staff@netlive.ne.jp

<http://nofence.jp/>

INDEX

6月27日 ソウル国際会議参加報告（小川晴久）	2
エリー・ヴィーゼル教授他界（許萬鎬）	4
第3代特別報告者にキンタナ氏決まる	6
アメリカ政府発表の制裁リスト	6

暑中お見舞い申し上げます。

会員の皆さん！

熱中症に気をつけましょう！

会費の納入ありがとうございました。

まだの方はお願いいたします。

会員 5000円／賛助会員 2000円

【郵便振替口座】

加入者名 NO FENCE／口座番号 00180-1-707147



By 松岡明芳 - 松岡明芳, CC 表示 - 継承 3.0, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=11027547>

6月27日 ソウル国際会議参加報告

代表 小川晴久

“北朝鮮人権”責任追及を加速しよう！

第1部 UN ソウル事務所1周年記念シンポ

第2部 賢人グループ創立行事

主催 延世ヒューマン・リバティーセンター

北朝鮮人道犯罪撤廃国際NGO連合 (ICNK)

後援 民主平和統一諮問会議

去る6月27日(月)ソウルで表記の国際会議がありました。直前(5日前)の連絡でしたが、ICNKが主催団体に入っていましたので、副代表の宋允復さんと急遽相談し、2人で参加してきました。

第1部では基調講演として、国際刑事裁判所の前裁判長宋相現ソンサンヒョン氏が登壇しました。パネルが2つ用意され、「誰の、何に対する責任追及」(パネルI)と、「責任追及：実現可能な提案と方法」(パネルII)の順で、各数名のパネリストが発言しました。

言語は英語と韓国語。同時通訳付き。会場はUNソウル事務所(8F)が入っている光化門近くのグローバル・センター・ビルディング。パネルIの司会はダルスマンさん。IIの司会はムンターボーンさん。

発言内容

パネルIの主な発言内容は以下の通り。

「各収容所の管理者の名前を調べるべき」(スカラトイウ北朝鮮人権米委員会事務局長)。「歴代の関連機関の責任者の名前の一覧表を作るべき」(崔チュソンホ中央大学法学部教授)。「金正恩が責任者であると声を大にして言えば言うほど、収容所、教化所その他の施設での改善が出てくる。収容所に関連する部署に対象を絞ることが大事だ。段階を踏むことも大事」(高英煥コヨンファン国家安保戦略研究院副院長)。「東欧では今、過去の責任組織と責任者の情報は公表されている。しかし大量殺害の責任者は処罰されていない」(ホサニヤック北韓人権市民連合局長)。「金正日、金正恩の署名のある文書の収集が必要」(バート北朝鮮人権欧州連盟)。

パネルIIでは、「女性や子どもの被害に注目。市民社会の役割大事」(ポールセンUNソウル事務所所長)。「脱北者への心理的援助が必要。映画・ネット・動画の活用」



チエソクヨン
(崔哲泳前ジュネーブ大使).

「ソ連のグラグの経験. 500万人の強制労働——責任は誰も取っていない. 中国の役割も大事」(クリスティーナ・チュン). 「シリアに対する調査が参考になる. COI 報告の勧告中, 人権対話, 核問題との結合の実践」(D. ホーク). 「ビルマのケースを参考にせよ. まだ多くの国が北朝鮮の人権問題の深刻さがわかっていない」(ジャレド・ゲンサー).

質疑の時間も若干あったので, パネル II で私が強制収容所解決のロードマップを作る責任が専門家グループやわれわれにあることを英語で発言した.

第2部の賢人グループ創立行事では, パネリストとして宋相現, M. カービー (COI 報告委員長), ムンターボーン (初代特別報告者), R. キング (米人権大使), ビセルコ女史 (COI 委員) が発言した. 司会をした李ジョンフン¹ 韓国人権大使は, 賢人グループに期待されることは6点あるとし, 次回の賢人グループ会議は年内にニューヨークで開催すると言明した.

6点とは, (1)COI 報告書の内容を北当局に認めさせること. (2) 収容所問題, 拉致問題, 離散家族問題等々に関する提言をする. (3)UN 安保理が, UN が北の人権状況をいかに深刻に考えているかを北に伝える. (4) 海外での北の労働者問題をローマ規定に照らして提言する. (5) 北に対して, 外交的, 文化的な働きかけをする. (6)UN ソウル事務所を支援する.

口頭で発表されたので, 以上の6点の内容は不正確なところがあるかもしれない.

また賢人グループの名前の発表もなかったので、発言したパネリストに、ダルスマンさんも加わったメンバーが賢人グループになるのだろうと判断した。しかしアメリカ人権大使が入るのか否かは確認できていない。アメリカ人権大使が入るのは異常である。

感想と成果

1. 去る3月末の国連人権理事会の決議で、専門家グループ（2名以内）を作り、責任追及のプロセスと方法を6カ月以内に明らかにし、来年3月の決議に反映することが期待されているので、今回のシンポジウムがそれを主題にしたことは理解できる。

2. しかし、強制収容所の廃絶をどうすべきかに世界は知恵を絞るべきと考える立場からすると、今回の会議の持ち方には不満が残った。強制収容所体験者の参加もなかった。

3. ただ、ホサニヤックさん、高英煥氏（『平壤25時』の著者）、^{チヨガブチエ}趙甲濟さん、ポールセンさん、スカラトイウ氏たちと挨拶できたという収穫はあった。

北朝鮮人権問題を国連安保理に提起した ホロコースト生存者エリー・ヴィーゼル教授他界

慶北大学政外科教授、北韓人権市民連合理事 ^{ホ マ ノ}許萬鎬

“沈黙は被害者でなく加害者を助けるだけだ。人（々）が人種、宗教、政治的見解のために迫害を受けているところは、どこでも宇宙の中心とならねばならない。”

エリー・ヴィーゼル教授が人種差別撤廃と人権の伸長のために努力した功労で1986年にノーベル平和賞を受賞したとき、披瀝した所感である。収容所死体焼却所から生還した勇気、家族の死など、彼が見て経験した惨状を伝えたホロコースト物語は『夜 (The Night)』として出版された。生涯をホロコースト証言に努めた彼は、今年の7月2日に享年88歳で世を去った。

ホロコースト生存者であるヴィーゼル教授は、北朝鮮人権運動においてもヴァツラフ・ハヴェル前チェコ大統領、シェル・マンネ・ボンデヴィーク前ノルウェー首相と共にUN安保理に北朝鮮の人権弾圧に対する行動を促した。この日に公開した「保護の失敗」という題目の北朝鮮人権報告書で、ヴィーゼル教授はハヴェル前大統領、ボンデヴィーク前首相と共に北朝鮮の食糧と飢饉、政治犯収容所問題、外国

人拉致など、人権問題と北朝鮮独裁政権が犯している各種の犯罪を詳細に指摘した。そして UN 安保理が 2300 万の北朝鮮住民に対する金正日政権の弾圧に問題を提起して、人権問題に対して国連が介入するよう促した。この報告書でヴィーゼル教授たちは、このような介入の正当性が安保理の 15 の理事国が満場一致で承認した 2005 年国連決議によって保障されていると強調した。2005 年の決議は、2005 年国連サミットの決議と 2006 年安保理の再確認を経て国際規範として確立した国連の“国民の保護責任 (R2P: responsibility to protect)”を盛っている。すなわち国家が自国民を集団虐殺するとか人種浄化のような反人類的な犯罪を犯すなど、自国民を保護しないとできない場合には、国際社会がその責任を引き受けなければならないという原則を明らかにしたのである。ところで北朝鮮政権は人民を犯罪から保護するどころか、進んで反人道犯罪を犯している。このように自国民を保護する意思のない北朝鮮政権に対して UN 安保理が制裁を加えることは、国連の「国民保護責任」を履行することである。

北朝鮮人権運動に力をそそいだヴァツラフ・ハヴェル大統領は 2011 年 12 月 18 日に、エリー・ヴィーゼル教授は 2016 年 7 月 2 日に世を去り、とても残念である。今後このような役割を果たしてくれる世界的指導者をまた期待して、エリー・ヴィーゼル教授の冥福を祈る。

【注】北韓人権市民連合ニュース・レターより翻訳転載。許氏は早くから北朝鮮の収容所問題に取り組んできた研究者であり、活動家である。6月27日のソウル会議でも再会を共に歓んだ。(宋・小川)

会員の皆さま

★メールアドレスをお知らせください★

集会の予定などをメールでもお知らせしますので、
下記にメールをお送りください。

nofencekorea@gmail.com

第3代特別報告者にキンタナ氏決まる 任期は8月1日から

新聞報道によれば、国連人権理事会は7月8日、第3代目の北朝鮮人権状況特別報告者にトマス・オヘア・キンタナ氏（アルゼンチン）を任命したという。国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）のホームページによれば、6月30日国連人権理事会議長の推薦により決まる。キンタナ氏は前ミャンマー人権状況特別報告者（会員の李恩元さん調べ）。

アメリカ政府発表の制裁リスト

アメリカ財務省は7月6日、金正恩を含む北朝鮮の最高幹部級11人と5組織を金融制裁の対象に追加すると発表した。以前に4人と3組織を指定しているとしており、合計15人と8組織となる。

制裁理由は、北朝鮮人民に対する過酷な人権侵害である。

アメリカが核・ミサイル開発以外の理由で北の「指導者」を制裁対象にしたのは初めて。

制裁対象となった組織・個人は以下のとおり（すでに指定済みとされるものを含む）。

組 織

労働党組織指導部

国家安全保衛部

国家安全保衛部農場指導局（強制収容所担当）

人民保安部（現在は人民保安省）

人民保安部教化局

（以上が今回追加の5組織）

国防委員会（現在は国務委員会）

労働党宣伝扇動部

朝鮮人民軍偵察総局



趙延俊



金慶玉



金己男

個人

金正恩 (32 歳) 労働党委員長

趙延俊 (78 歳) 組織指導部第 1 副部長

金慶玉 (77 ~ 79 歳) 組織指導部第 1 副部長

金己男 (86 歳) 宣伝扇動部長

李在一 (81 ~ 82 歳) 宣伝扇動部第 1 副部長

崔富日 (72 歳) 人民保安部長

崔チャンボン (52 歳) 人民保安部予審局長

李ソンチョル (56 歳) 人民保安部参事

カン・ソンナム (54 歳) 国家安全保衛部第 3 局長

呉ジョングッ (62 ~ 63 歳) 偵察総局第 1 局長

趙イルウ (71 歳) 偵察総局第 5 局長

(以上が今回追加の 11 人)

黄炳瑞 (75 ~ 76 歳) 国防委員会副委員長

呉克烈 (86 歳) 国防委員会副委員長

李勇武 (91 歳) 国防委員会副委員長

朴映式 (65 ~ 66 歳) 労働党中央軍事委員会委員



崔富日

参考 URL

<https://www.treasury.gov/resource-center/sanctions/OFAC-Enforcement/Pages/20160706.aspx>

<https://www.treasury.gov/press-center/press-releases/Pages/jl0506.aspx>

<http://www.state.gov/j/drl/rls/259366.htm>

将軍様、 あなたのために映画を撮ります



©2016 Hellflower Film Ltd/the British Film Institute

9月24日より、ユーロスペースほか全国順次公開

疑惑の拉致事件——
北朝鮮から亡命して30年、
拉致された韓国人の映画監督と女優の二人が
辿った数奇な運命とは——？

監督：ロス・アダム、ロバート・カンナン
出演：崔銀姫、申相玉、金正日ほか
2016年 / イギリス / 97分
配給：彩プロ
TEL：03-3428-7874（向井）

